

あきはくはつものがたり

令和5年3月19日
発行：秋葉区自治協議会
編集：広報部会

アキハスムプロジェクト

Facebook、ホームページ
でも情報発信中！

『発』 秋葉区から発信する数々のイベント

『初』 秋葉区から始まった数々の誇れるもの

『抜』 抜きん出ている素晴らしいもの



秋葉区 ひな・お宝めぐり

秋葉区自治協議会では、今年も、秋葉区全てのコミュニティ協議会が協働して、「秋葉区ひな・お宝めぐり」を開催しました。秋葉区内の各団体のご協力のもと、秋葉区全域で開催することができました。参加団体は148団体にものぼり、秋葉区の子どもから大人までが心を込めて作った、たくさんのつるし飾りが秋葉区内を彩りました。



金津地区コミュニティセンター



新津地域交流センター



荻川コミュニティセンター



新潟薬科大学



小須戸まちづくりセンター



新潟薬科大学



小合地区コミュニティセンター



新潟コミュニティセンター



小須戸地区ふれあい会館



ジチキョーの ユリちゃん 第4回

【プロフィール】
ジチキョー1期目
趣味は山登りと手芸

作者：necoco

新潟まんが事業協同組合「ガタまん」に所属。イラストやマンガのご依頼をいただいて制作しています。海洋生物や動植物が好きです。



「アキハスムプロジェクト」のお揃いのポロシャツを着用して、秋葉区のPRをしながら活動しています。

このロゴマークは『楽しく秋葉区に住む』ということで、家が微笑んでいるように「AKIHA」の文字をタテに並べたものです。



色々なメニューがいっぱいもち麦



8期をふりかえって



編集後記

第8期の自治協議会が終わろうとしています。第8期スタート時、「区民の皆さんと自治協議会の橋渡しになれるよう頑張ります」との部員の声に後押しされ、かわら版・ラジオ版「あきはくはつものがたり」で自治協議会のPRに努めてまいりました。私は、新潟市のベッドタウンであるという理由のみで旧新津市に転入してきました。秋葉区に何の思いもない状態でした。自治協議会に関わるようになり、ようやくその魅力・宝ともいえる、人の温かさを知りました。まだまだ中身は深いと思っています。さらに秋葉区が温かい地域として発展していくことを願っています。「あきはくはつものがたり」をお読みいただきありがとうございました。
(加納 百合子 記)

募集しています！

かわら版や自治協議会活動についてのご意見、ホームページに掲載してほしい情報を募集しています。住所・氏名・連絡先をご記入の上、下記自治協議会事務局宛てに郵送、FAX、またはメールでお送り下さい。

〒956-8601 (住所記載不要)
秋葉区役所 地域総務課 企画グループ
FAX / 0250-22-0228
メール / chiikisomu.a@city.niigata.lg.jp



自治協議会各部長 活動報告

第2部会



部会長
蓮沼 美宣

防災講演会と買物送迎支援

【防災講演会】

村上地区の豪雨災害を教訓に、里山のある秋葉区も同じ災害のリスクがあることから土砂災害に関する防災講演会を10月に実施しました。また、小中学生用の防災手帳を作成し、秋葉区全小中学生に配布しました。

【買物送迎支援】

運転免許返納等により生活交通を望む地域の存在は全国共通の課題です。12月に満日地区で買物送迎支援を試行しました。3月から毎月第2・4火曜に実施します。

自治協議会からのお知らせ

秋葉区自治協議会では本会議、各部会を傍聴することができます。定員10名。直接会場へどうぞ。

【今後の会議開催日程】 ●本会議 3月24日(金) 13:30～ 区役所6階 601・602会議室

※秋葉区自治協議会の開催日、会場は、当月の「あきは区役所だより」およびホームページをご確認ください。

第1部会



部会長
横山 喜規

きらめく秋葉区に向けて

第1部会では本年度もきらめきサポートプロジェクトを実施致しました。まずは多くの応募を頂き感謝申し上げます。その中で採択された事業は、「アキハフジンロックフェスティバル」「クマ・イノシシなどの大型獣から命を守る安心安全なまちづくり」「秋葉地区周辺案内地図設置事業」「ぎゅっともっとうずと秋葉区フォトコンテスト2022」の4事業でした。きらめく秋葉区に向けて地域団体と協働で実施することが出来ました。ありがとうございました。

第3部会



部会長
花水 真由美

ようやく始動 Akiha おとな大学

コロナ禍ではじまった「Akiha おとな大学」ですが、昨年度のプレ開催ができず、今年度ようやく活動することができました。まずは、「おうちdeもち麦cooking」ですが、食生活改善推進委員の皆様からは、献立・調理について、保育士シンガーソングライターのTAMiさんからは、作曲と踊りの制作とレシビ動画撮影の協力をいただき、もち麦料理の動画を配信しました。そして～秋葉区における戌辰の役～のタイトルで、1月22日に「秋葉区の歴史を学ぶ講座」を開催しました。多くの区民の皆様に参加していただき、知られざる秋葉区を学んでいただけたのではないのでしょうか。残念ながら、悪天候で「里山トレッキング」は中止となりましたが、次年度にリベンジで再度取り組んでいきたいと思っています。

自治協議会 8期をふりかえって



会長
金子 洋二

まちづくりは区民が主役！

秋葉区自治協議会の第8期はこれまで以上に活発で充実した2年間でした。「議論」と「行動」を合言葉に掲げ、様々なチャレンジができたと思います。

開催エリアを区内全体に広げた「ひな・お宝めぐり」は各会場で多くの来場者を集めました。多様な方々とのコラボレーションは区民の絆を強める効果もあったようです。

また、「秋葉区の暮らしやすさに関する意識調査」では千人以上の区民の声を分析し、秋葉区の現状や課題を明らかにしました。この成果は新潟市長・秋葉区長への提言や、新しい「区ビジョン」および「特色ある区づくり予算事業」の検討材料としても活かしました。

「きらめきサポートプロジェクト」は8つの事業を区内の市民団体との協働で実施。他にも満日地区における生活交通の支援や防災手帳の作成、「Akiha おとな大学」の開催など、多様な成果を残すことができました。

委員の皆様のご活躍と、区民の皆様からの多大なご協力に深く御礼申し上げます。

「秋葉区自治協議会は、このまちに暮らす区民が主体的に「まちづくり」に関わり行動する「区民主動」を全力でサポートすることを宣言します」（区民主動サポート宣言）

第6期の委員の皆さんが発表した宣言を、第8期の委員の皆さんと引き継いで毎月の会議や部会の活動を通して多くの方々からご協力をいただきながら、活動してまいりました。残念ながら、コロナ禍の影響は長期化して度重なる変化に、予定した事業は延期や中止となる現実に向き合いました。

そんな状況の中で「できること」を共有して乗り越えられたことは、コロナ禍の閉塞感があっての体験、とても印象に残ります。「地域づくり」「まちづくり」を専門とする金子会長の下で、「秋葉区」をこよなく愛する委員の皆さんとご一緒できたことで多くを学ぶ機会に恵まれました。自らの地域活動に活かしていきたいと思っています。

この「秋葉区自治協議会かわら版 あきはくはつものがたり」は自治協議会の周知度の向上を目指して委員発案の広報紙として発行しています。多くの区民の皆様から「秋葉区自治協議会」に関心を寄せていただければ幸いです。



副会長
大貫 弘美

8期をふりかえって

ラジオ版「あきはくはつものがたり」

毎月第2水曜日 12:00～

(再放送 第2水曜日と同じ週の土曜日9:00～)

『クリック!秋葉区』内「自治協通信」

秋葉区自治協議会本会議の協議内容をお知らせしています。

ラジオチャット エフエムにいつ 76.1MHz

毎月第2金曜日 10:07～